



# かみのせき 議会だより

2016  
1/22

No.133



平成 27 年 12 月定例議会

祝島もちつき大会

議案	補正予算・条例	-----	2～3P
臨時議会		-----	3P
一般質問	(3名が町の取り組みを問う)	-----	4～6P
委員会視察研修報告		-----	7P
研修報告、要望・陳情、編集後記		-----	8P

## 新年のご挨拶



議長  
西 哲夫

新年あけましておめでとうございませう。

年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年の干支は丙申（ひのえさる）で、いままでの努力が報われるとか、病や厄が「去る」と云われ、縁起がよいとされています。

今年が皆様にとって平穏で幸多い年となりますようご祈念申し上げます。

昨年は9月に議員補欠選挙が実施され、議員定数も整い議会、委員会構成も充実しました。住民のみなさまには、平素より議会の諸活動に対しご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

また5月には総合文化センターの開設により、各種の行事を引き受け、盛況のうち目的を果すことができました。関係者の皆様のご尽力に改めて感謝とお礼を申し上げます。

道の駅「上関海峡」かみのせき

温泉「鳩子の湯」の施設は住民生活の利便性もよくなり、集客施設として賑わいをみせています。

反面、町の財政状況は大変厳しい事態になりつつあります。原子力関連交付金は不透明な状況が続き、税収増も望めない状況なのか、社会福祉費の予算は年々増額の一途であります。

収入減、支出増のアンバランスな財政状況は深刻な事態に進んでいます。

このような事態を改善していくための収益事業として町長から一昨年8月に風力発電2基建設の提案があり、議会として研修、協議をかさね、昨年11月の臨時会議において風力発電建設調査費を可決しました。今年から一年かけて調査し、予定では3年後に営業運転が始まる計画です。

今後交付税等の減収は続くと考えられ、財源を求める事業（ふるさと納税）を積極的に取り組んでいくことが求められます。

平成28年度予算も厳しい財政運営になると考えていますが、住民生活、地域経済に支障がでないよう執行部とも協力し、住民の皆様にご協力をお願い申し上げます。

本年度も町議会に対し皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。

## 議案・行政報告

議案説明に先立ち、9月定例議会以降の行政の執行状況や諸行事について報告がありました。11月8日、9日に山口県原子力防災訓練が実施され、関係機関との情報の共有、住民への避難指示の伝達が主なもので、屋内退避状況の確認訓練が行われました。諸行事については、ねりんピックにおいては、本町では10月18日にウォークラリー交流大会一般の部が開催されました。

11月3日には、上関町定例表彰式、11月15日は道の駅上関海峡、総合文化センターで愛ランドフェアが行われました。

12月6日には、愛ランドかみのせき走ろう大会の開催など、目まぐるしく行事があった一年でありました。

平成28年度予算編成方針については、町の現状や社会の動向に即し、町財政の状況などを考慮しながら予算編成に取り組むこととし、引き続き「定住対策」「暮らしの支援」「産業観光

振興」を重点事業と定め主要施策の着実な進捗を図っていくとの報告がありました。

本定例議会は、12月9日から17日までの9日間で開催され、平成27年度一般会計および特別会計の2会計の歳入歳出補正予算および条例の制定3件が提案され原案どおり可決されました。



定例表彰を受けられた皆さん

# 平成27年度補正予算

## 一般会計

598万7千円を減額し、33億8千889万2千円とする。

## 特別会計

◆国民健康保険事業は1千347万1千円を追加し、7億2千691万8千円とする。

◆へき地診療所事業は15万2千円を追加し、8千959万7千円とする。

## 条例の制定

◆上関町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定  
地方税法の一部改正に伴い、上関町税賦課徴収条例の一部を改正する必要があるため。

◆上関町定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定  
上関町定住促進住宅（3戸）を新築したため。



新町住宅団地 若者定住促進住宅（室津）

◆上関町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定  
行政手続における特定の個人を上関町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、町における個人番号の利用について定めるため。

# 臨時議会

## 第1回臨時議会

10月16日に招集され次の議案を可決した。

◆副町長の選任について  
松中一夫氏の選任を全会一致で同意した。



松中一夫 氏

町の将来のため尽力されることを期待します。  
下村前副町長には永年にわたり、ご尽力を賜り有難うございました。

## 第2回臨時議会

11月27日に招集され次の議案を可決した。

◆上関町課設置条例の一部を改正する条例の制定  
新エネルギー施策推進の充実を図るため。

## 平成27年度補正予算

## 一般会計補正予算



離島航路（かみのせき丸）

2千400万円を追加し、33億9千487万9千円とする。

## 特別会計補正予算

◆国民健康保険事業は、27万9千円を追加し、7億1千344万7千円とする。

◆介護保険は、67万8千円を追加し7億600万5千円とする。

◆へき地診療所事業は、34万5千円を追加し、8千944万5千円とする。

◆簡易水道事業は、7万2千円を減額し、1億6千471万5千円とする。

◆漁業集落排水事業は、741万円を減額し、1千774万3千円とする。

◆航運事業は、23万2千円を追加し、3千952万2千円とする。

新年明けまして  
おめでとうございます  
議員一同



町政のここが聞きたい

# 一般質問

12月定例議会では3名の議員が  
5件の質問をしました。

## これからの町づくりに 質問が集中

売電収入2億円でいいのか、町民への説明は

**答** 風況実績を基にしたデータ。説明会は秋以降

上盛山西側の少し低い尾根の標高250m付近が風の計画地盤になると思いう。そこからタワー70mを加えた風車の高さが、上盛山風況観測地点の高さと同等になる。町という売電収入は、そこから70mの地上高での風況シミュレーションであるから、売電収入が2億円というが、試算はいかがなものか。また町民への説明会の予定は。

### 質問

売電額に大きく影響する設備利用率は、標高の比較ではなく地上高の比較が鍵となる。設備利用率の数値は、現時点での判断に用いるデータで風況実績を基に試算した客観的な数値である。町民への説明については、建設予定地に近い住民には工事の影響や建設への不安を生じさせないために、環境影響調査結果が分かる秋以降に説明会を開く予定である。

### 町長答弁

河村 満生 議員



上盛山展望台（風況調査観測地点）

# 伊方原発の防災訓練と離島での対応

## 緊急時に冷静な対応ができるよう準備



山戸 貞夫 議員

### 質問

伊方原発3号機再稼働が現実化される中、先日は国が主導して大掛かりな防災訓練が行われた。立地県の愛媛県が中心だが、原発から30<sup>キロ</sup>圏内の八島も対象になった。ただ、八島の訓練は屋内退避のみで、船での避難等はなされず、訓練に実際の有効性があるのか疑問だ。また、祝島も原発より50<sup>キロ</sup>程度の離島であり、事故時等の避難は必要と思うが。



対岸に伊方発電所が見える八島

町長答弁  
今回の訓練が過酷事故に対し有効性があるかどうかについては、疑問を感じる点もあるが、今回の訓練を通じて問題点などを検証し緊急時における行政の対応策を講じるためには必要であったと感じている。祝島地区に関してもUPZの圏外とはいえ避難の必要性が生じてくることも予想される。八島地区と同様に、全島民のすみやかな避難ができるよう対応していきたい。

# 祝島の今後の医療体制は

## 答 離島医療を守っていきたい

### 質問

祝島は過去8年間にわたり医師が常駐し、昼夜を問わず受診できる、安心な生活が続いていた。しかし、その医師が本年末で辞職することになり、その後が見えていない。今後本土の医療機関を利用するにも、経済的・体力的に負担が増すため高齢者が多い島民は、大きな不安を抱いている。当面の対応、長期的な島の医療についての町長の見解を求める。



医師を待つ祝島診療所

### 町長答弁

祝島を無医地区にしてはならないとの思いから後任の医師については、早急に確保が必要であると判断している。各方面に依頼して、さまざまな方策で探したが新たな医師は簡単には見つからない。  
離島の医療を継続し支えていくため、できるだけ早く祝島診療所での診療が再開できるよう、町としても最大限の努力をしていきたい。

# イノシシの被害状況と今後の取り組みは

**答** 本町に適した被害防止策を講じていく



清水 敏保 議員

## 質問

農家ではイノシシによる農作物の被害が年々拡大している。どここの自治体も対応が難しく、頭を抱えているようだ。早急に対策を取らないと益々被害が増え、農業者が生産意欲を失ってしまう。この問題は、農家全体の合意を踏まえながら、地域ぐるみで立ち向かう意識を持ち、粘り強く取り組む必要がある。本町の被害状況と対策、今後の取り組みについて問う。



捕獲した 100kg 超のイノシシ (祝島)

町長答弁  
最近では全町にイノシシ被害がみられ、被害面積・被害金額とも増加するものと考えられる。現在、罠免許13名、銃狩猟免許3名取得し、捕獲作業に従事している。今年、箱罠21基設置し82頭捕獲している。また、12月に有害鳥獣捕獲隊が発足し更なる対策強化を図っている。今後、各地区の農業委員さんと協議しながら、本町に適した鳥獣被害防止策を講じていく。

# 安心して集える保育施設の整備は

**答** これまで以上安心して子育てができる環境づくりを実施していく

## 質問

子供を安心して生み、子育てができる環境づくりを進めるため、保育サービスへの支援、子育て支援体制の整備・充実に取り組んでいる。乳幼児や子どもが安心して集うことのできる施設を整備する計画があるが、その設備の内容を問う。

町長答弁  
現時点で検討している施設は、全ての子供が利用でき、集会室、遊戯室、児童クラブ室など想定している。今後、本町にとってどのような施設が真に必要なのか検討し、利用方法や規模について決めていきたい。

「家庭的保育事業」は、認可定員や職員資格、施設的面積などの条件がある。事業の実施については地区の実情に沿ったものになるように協議を重ねていきたい。



みかん狩りを楽しむ親子 (祝島)

# 常任委員会視察研修報告



総務文教常任委員会  
委員長 嶋尾忠宏

- ・官民一体学校
- ・ICT教育
- ・新庁舎建設計画

## 佐賀県武雄市

官民一体学校とは、多様



産業厚生常任委員会  
委員長 河村満生

- ・有害鳥獣対策
- ・耕作放棄地対策
- ・磯焼け対策
- ・道の駅おおう

## 佐賀県武雄市

有害鳥獣対策について農  
林課によると、15年前ごろ  
からイノシシが増え作物の

性を認め合い、お互いに学  
びあう教育、官と民の強み  
を生かして教育の一層の充  
実を図ることを目的とした  
新しい学校づくりです。特  
徴として、朝の時間（15分  
間）を活用した学習の土台  
作りとなる学びを5分位の  
間隔でテンポよく行うモジ  
ュール授業、コミュニケーション能力や思いやり、リ  
ーダーシップの育成する青  
空教室です。もう一つの  
取り組みとして、ICT教

被害が開始されました。その  
被害状況は、水稲、大豆、  
芋などの農産物、算定が難  
しい田畑の畦や林道の法面  
などの土木被害、市街地周  
辺への人的被害も懸念され  
る状況であります。イノシ  
シ被害対策としての捕獲事  
業は、猟友会にイノシシ駆  
除の委託、捕獲報償金、箱  
ワナや括りワナを貸与し捕  
獲の促進を図っています。  
また、進入防止対策として  
は、国の補助事業で広域的  
な防護策（電気放柵、ワイ  
ヤーメッシュ柵）の設置に  
よる被害防止を行なってい

育スマイル学習は、生徒一  
人一人に配布されたタブレ  
ットを活用した反転授業で  
知識習得の効率向上、教員  
が生徒の理解度を正確に把  
握、コミュニケーション能  
力も身につくなどがメリッ  
トとしてあげられました。  
学校教育は、将来の担い手  
育成として重要な分野であ  
り、現在の教育の課題も多  
岐にわたり存在する事もあ  
ります。慎重に協議しなが  
ら、現代に合った教育、特徴  
ある学校づくりをしていか  
なくてはなりません。今  
回の研修はとても参考にな

ます。特殊な事業としては、  
森林組合によるパトロール  
事業や鳥獣被害対策犬など  
の導入、捕獲したイノシシ  
肉の商品、加工品開発の説  
明を受けました。本町のイ  
ノシシの被害も全町的な勢  
いになりつつあるので、武  
雄市の有害鳥獣対策を参考  
に対策を考えたいと思いま  
す。次に農地の耕作放棄地  
対策の1例として、市の発  
案で休耕地などにレモング  
ラスの栽培を広め、特産品  
として注目されているとの  
ことであります。



武雄市議場にて研修

りました。また、武雄市も  
老朽化に伴い、新庁舎建設  
計画があり、今回の研修で、  
本町の計画にも参考にして  
いければと思います。

## 福岡県大任町

道の駅おおう桜街道  
は、町が100%出資した  
株式会社運営し、温浴施  
設の「さくら館」、野菜や魚、  
弁当、惣菜が買える物産館  
や軽食が楽しめる「もみじ  
館」、電動遊具などが配置の  
「親子ふれあい広場」の3つ  
のゾーンで構成されていま  
す。約500台の駐車場を  
完備し、連休には駐車場も  
満車になるほどの盛況で、  
町に大きな活力を与えてい  
るといっていました。

## 長崎県野母崎三和漁協

磯焼けは十数年前から長  
崎県各地で海藻の立枯れが  
発生し、野母崎町も海藻が  
減少し、海底の岩は真っ白  
な状態が広がり典型的な磯  
焼けとなっていました。そ  
こで素潜り漁師4名は、藻  
場を取り戻す方法を話し合  
い、自分たちのできるウニ  
除去に取り組み、平成22年  
度から環境・生態系保全活  
動支援事業の支援を受けて  
ウニ除去を開始しました。



野母崎漁協青年部  
からの説明

した。努力の甲斐があり、海  
藻が回復したことで稚魚も  
見られ、自分たちの力で漁  
場を取り戻し、今後の取組  
みへの弾みになったといっ  
ています。本町の海はまだ  
磯焼けが目立たないが、磯  
焼け対策は考えるべきだと思  
います。

# 研 修 報 告

## 町議会広報研修会

東京都  
シェンパツハ砂防  
10月20日・21日

広報広聴特別委員会  
委員長 岩木和美

1日目は「伝える広報から伝わる広報へ」「思わず手にとる 読みたくなる議会だよりを目指して」と題して、専門の先生方による読みやすい文章の書き方など演習を交えながら学びました。2日目は「優良紙クリニックから学ぶ」ということで、鳥取県大山町議会と山形県川西町議会の編集活動内容が紹介され、とても勉強になりました。今回の研修で学んだ事を生かし、これからは、親しみやすく読んでいただける「議会だより」を作成したいと思えます。

## 山口県町自治研修会

9月27日、山口市で「日本の政局・政治の行方」を演題として、時事通信社仙台支社長 山田恵資氏を講師に招き研修しました。

題として、山口県住宅課増本英明副課長、東村美穂主任を講師に招き研修をしました。

の親睦も深まり、大変有意義な研修会となりました。

## 山口県町議会広報研修会

11月27日、田布施町で県内の町議会広報委員が、研修を行いました。今回は、それぞれの町が事前に質問事項を提出し、分科会（情報交換会）で意見を出し合いました。他町の様子もわかり、勉強になりました。

## 要望・陳情

◆児童生徒の健全育成にかかわる要望書  
上関町PTA連合会  
会長 布田 晃一

◆平成28年度町予算編成に際しての観光協会助成について  
上関町観光協会  
会長 嶋尾 忠宏

◆平成28年度市町予算編成に際しての商工会助成について  
山口県商工会連合会  
会長 藤村 利夫

◆平成28年度商工助成に係る陳情について  
上関町商工会  
会長 濱田 憲昭

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。「百聞は一見に如かず」何度繰り返しても、一度実際に見ることに及ばないという意味です。日々現状が変わる中で、一人一人目で見えて考え、対応することで視野が広がり様々な方向から物事を見ることが出来るようになります。一つ一つの積み重ねを大事にして「見直し改善」も必要だと思えます。役割分担を明確にし、住民の皆様と連携することで、より良い上関町になるよう努めてまいります。本年も皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

## 特別委員会 広報広聴委員会

委員長 岩木 和美  
副委員長 嶋尾 忠宏  
委員 海下竜一郎  
河村 満生  
清水 敏保



## 熊毛郡町議会議員 合同研修大会

10月23日、田布施町で、「空き家対策について」を演



## 町議会広報視察研修

11月24日に広島県海田町で、熊毛郡3町合同で行いました。

議会広報の編集体制・方針・方法、議会広報広聴特別委員会設置の経緯について協議しました。同協議会



発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報広聴調査特別委員会  
印刷所／中村印刷株式会社